

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第3学年 「音楽（教育芸術社）」					(歌)…歌唱教材 (器)…器楽教材 (鑑)…鑑賞教材 (劇)…音楽づくり (共通)…共通教材
新型コロナウイルス感染防止のための配慮として、学校再開当初は、歌唱や器楽の指導を避け、鑑賞や音楽づくりの学習から開始できるよう、題材の順番を入れ替えてあります。学校の実情に応じて、ここに示された方法以外にも、柔軟な入れ替えができます。(週数は目安です。歌唱や器楽の実施については注意事項を参照してください。)					「鑑賞」や「音楽づくり」の題材を示しています 本学年で扱う「共通教材」を示しています
42時間（70％）					
週	指導事項	題材名	教材名	時間数	留意点
1	鑑賞—ア、イ (器楽—ア、イ、ウ)	3. リコーダーのひびきをかんとろう	(鑑)ピタゴラススイッチ/小鳥のために	5	○器楽演奏は後半の題材と合わせて行う。
(器)練習曲—後半へ					
(鑑)きらきら星					
2	音楽づくり—ア、イ、ウ 鑑賞—ア、イ (器楽—ア、イ、ウ)	8. ちいきにつたわる音楽でつながろう	(鑑)祇園囃子/ねぶた囃子 (鑑)神田囃子「投げ合い」	4	○器楽演奏は後半の題材と合わせて行う。 ○音楽づくりでは、必要に応じてワークシート等を工夫することで、創作活動をしやすくするようにする。
(器)たいこにちようせん—後半へ					
(創)ラドレの音でせんりつづくり					
3	鑑賞—ア、イ (歌唱—ア、イ、ウ) (器楽—ア、イ、ウ)	6. 曲のかんじを生かそう	(鑑)メヌエット	5	○歌唱や器楽については後半の題材と合わせて行う。
(器)山のポルカ (器)練習曲 —後半へ					
(歌)掃子道—後半へ					
4	音楽づくり—ア、イ、ウ 鑑賞—ア、イ (歌唱—ア、イ、ウ) (器楽—ア、イ、ウ)	7. いろいろな音のひびきをかんとろう	(鑑)トランペット吹きの日/アレグロ	6	○歌唱や器楽については後半の題材と合わせて行う。 ○器楽の指導については常時活動に取り入れる。 ○音楽づくりでは、必要に応じてワークシート等を工夫することで、創作活動をしやすくするようにする。
(器)パフ—後半へ					
(歌)おかしなすきなまほう使い—後半へ					
(創)まほうの音楽					
5	(歌唱—ア、イ、ウ)	1. 音楽で心をつなげよう	(歌)友だち—後半へ	2	○「りずむでなかよくなるう」については、常時活動で扱う。
(器) (創)リズムでなかよくなるう					
6	音楽づくり—ア、イ、ウ (歌唱—ア、イ、ウ) (器楽—ア、イ、ウ)	2. 歌って音の高さを感じ取ろう	(歌) (器)ドレミで歌おう—後半へ	5	○共通教材については、季節に合わせて時期を変更し、心の中で歌うなど、声を出さない指導の工夫をする。 ○音楽づくりでは、必要に応じてワークシート等を工夫することで、創作活動をしやすくするようにする。
(共通)春の小川					
(歌) (器)海風きって—後半へ					
(創)せんりつづくり					
7	歌唱—ア、イ、ウ	・曲のかんじを生かして歌いましょう	(歌)茶つき	1	○共通教材については、季節に合わせて時期を変更し、心の中で歌うなど、声を出さない指導の工夫をする。
<「後半へ」の教材はこれ以降に随時取り入れる>					
8	歌唱—ア、イ、ウ 器楽—ア、イ、ウ 音楽づくり—ア、イ、ウ	4. 拍ののってリズムを感じ取ろう	(器) (歌)ゆかいな木きん (創)手拍子でリズム	3	○「手拍子でリズム」については、常時活動で扱う。
9	歌唱—ア、イ、ウ	・日本に古くからつたわる曲の雰囲気をかんとろうとして歌いましょう。	(共通)うさぎ	1	○共通教材については、季節に合わせて時期を変更し、心の中で歌うなど、声を出さない指導の工夫をする。
10	歌唱—ア、イ、ウ 器楽—ア、イ、ウ	5. せんりつのとくちようをかんとろう	(歌)とどけよう このゆめを	4	○共通教材については入替えを行わず、心の中で歌うなど、声を出さない指導の工夫をする。
(歌) (器)あの雲のように					
(共通)ふじ山					
11	歌唱—ア、イ、ウ 器楽—ア、イ、ウ 鑑賞—ア、イ	9. 音の重なりをかんにて合わせよう	(歌)歌おう声高く	4	○範唱や範奏CD等を活用し、活動を精選して取り組む。
(鑑)かね					
(器)エーデルワイス					
12	歌唱—ア、イ、ウ 器楽—ア、イ、ウ	(巻末)歌いつごう 日本の歌 (巻末)みんなでのたのしく	ゆりがこの歌/七つの子/どこかで春がころパレット おはよう おはよう にじ 他	2	○学校の実態に応じて教材を選択して指導を行う。 ○CD等の範唱や範奏に合わせて歌ったり演奏したりする。

- * 国歌「君が代」の指導については、儀式や行事等の指導の中で、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数を設定します。
- * 留意点の欄にある「変更なし」については、年間指導計画作成例に示されている時数と変更がないため、指導計画と同様の指導ができるものとします。
- * 「茶つみ」「うさぎ」は学習内容や季節を考慮し、題材から独立しています。季節に合わせて歌唱教材として取り扱います。
- * 歌唱が他の領域と関連しているため、歌唱指導を除外して他の領域の題材を先に扱うことも考えます。

※注意事項※

通常の歌唱指導については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況をみながら、教室でマスクを外せる状況になった段階で実施を考えます。器楽指導（リコーダーや鍵盤ハーモニカ等を使用する場合）も同様とします。

歌唱指導を行える状況になった際は、教室を十分に換気をした上で、CD等の範唱を聴きながら心の中で歌うことや口ずさむことを取り入れたり、範唱を聴いて曲の雰囲気や旋律等を味わったり、声の大きさや出し方に注意しながら体の向きを変えて歌ったりするなどの活動を取り入れることも考えます。

また、器楽指導では、衛生管理に注意するとともに、おもに打楽器や鍵盤楽器等を扱います。共用の楽器を扱う際は、楽器に番号をつけて使用した児童が限定できるようにするなどの配慮を行います。リコーダーや鍵盤ハーモニカ等を扱える状況になった際は、教室の座席配置を工夫したり、体の向きを変えたり、音を出さずに運指を確認する活動を取り入れたりするなど、学習を工夫することも考えます。

※時間数の精選方法（例）

○題材の目標を明確にし、達成に向けて活動を工夫する。

新型コロナウイルス感染症対策にともなう休校措置を受け、各題材に割り振られる時数がおおむね1～2時間程度削減されています。そのため、各題材で設定する目標を明確にし、その目標を達成するための活動を精選することで対応します。（3時間以上の削減がある場合は、題材の中の曲を選択して扱うことも考えられます。）

- ・歌唱及び器楽について
 - CDやDVD等の視聴覚教材を活用し、範唱や範奏に合わせて歌ったり演奏したりすることで、歌唱や器楽指導の簡略化を図るなど、歌唱や器楽にあてる指導時間を軽減することができます。場合によっては、歌唱や器楽の演奏について、家庭学習で対応することも考えられます。
- ・鑑賞について
 - CDやDVD等の動画や視聴覚教材を活用する際は、視聴させたい部分を取り出して鑑賞できるように工夫したり鑑賞する視点を焦点化したりすることで、鑑賞の指導時間を軽減することができます。なお、曲の全体を通して鑑賞する機会を確保できるよう、時間の配分に配慮することも考えられます。
- ・音楽づくりについて
 - 音楽づくりでは、教科書の図やワークシートを活用し、短時間で音楽づくりの活動が行えるようにしたり、一部の活動を家庭学習で取り組めるようにしたりすることもできます。なお、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、音に出して確かめたり表したいイメージと音を関わらせたりする活動を、状況に応じて取り入れていくことも考えられます。なお、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、協働的な活動を取り入れることも考えられます。

（参考：令和2年5月1日付文部科学省通知）

新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る学校運営上の工夫について感染のリスクが高いと考えられる活動の取り扱いについて、「感染拡大防止の観点からリスクの高い学習活動を行わないこと」に、音楽科の学習活動として「音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動」が取り上げられました。